

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2012年6月10日

No 294

発行者ELIC編集委員会谷口利男
108-0073 東京都港区三田3-2-20
TEL(03)3455-6006 Fax3451-3595
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

ラピスセミで再雇用の闘い強化

ラピスセミと団体交渉を行なう



ラピスセミコンダクタ職場の宮崎移管問題で、電機・情報ユニオンに加入したシニア社員（定年後一年毎の再雇用）4名の第1回団体交渉が5月11日（上写真）に行われました。ユニオンは米田徳治委員長ほか3名と八王子労連・労働相談室長の伊澤明さん、当該の4名の9名が参加し会社側からは弁護士2名と総務・人事のグループリーダー（課長）2名の4名でした。冒頭、米田委員長から「会社と組合の交渉の場に弁護士が参加した経験がない。会社の経過を知りたい」と質問すると弁護士は「会社からの委任を受けているので問題ない」と回答。総務・人事の2名に質問しても弁護士が全て回答するなど異常な団交となりました。

シニア社員規程や親会社ローム社が掲げている「ISO26000」の観点から今回のシニア社員に対する扱いの不当性を訴えに対し会社側は5月20日に契約更新日を迎えるシニア社員に「5月17日に宮崎出向の意向を確認し応じなければ契約更新はしない」「ほかの3人については5月末に意思の確認をする」と断言し終了しました。

雇用契約の更新日が迫っていた鹿角サダ子さんは、雇用を守るため宮崎への出向の意向を示す文書を5月17日に会社へ提出しましたが、弁護士から米田委員長に送られたFAXは「文書は受け取ったが宮崎行き意向が明確ではないので20日で雇用契約を終了する」と言う驚くべき内容でした。翌日、総務GLと話

し合い宮崎行きについて話し合い会社側も了承しましたが21日からは自宅待機となりました。その後2回目の団交や事務折衝で内容を詰めています。

鹿角サダ子さんは「長年一生懸命、汗水たらして働いてきた労働者に「あっち行けこっち行け、行かなければ辞めてもらう」とはあまりにひどい。会社が大変と言いながら経営責任は取っていない。しわ寄せを全部労働者に押し付けるだけ。こんなひどい労働者への嫌がらせは許せない」と怒りを込めて語りました。

支援集会に100名が参加



この不当な扱いを多くの方に伝え社会的に追い詰めることが重要と考え八王子労連と共催で準備を進めた集会に全力を注ぎ32団体100名を越す参加者で成功させました。

電機・情報ユニオンに加入した東芝モバイルの青年達の訴えや当該のシニア社員の決意表明にはひととき大きな拍手が沸きました。

今月号の紙面

- ①ラピスセミで再雇用の闘い強化
- ②NEC1万人のリストラに反撃
- ③全労連争議支援総行動に参加
3月期の電機主要企業の実態
- ④東芝モバイルの仲間を励ます集い
メンタルヘルスを考える学習会
- ⑤ルネサス懇「年次総会」を開催
東京電機懇「年次総会」を開催
- ⑥私の自慢「無農薬菜園」平井さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧掲示板、NEC人減らしシンポ
からむす原稿募集、集積回路